

名称変更の概要

事 項	記 入 欄																		
計 画 の 区 分	研究科の名称変更																		
フ リ ガ ナ 設 置 者	コリツダ イクホクジン トクシマダ イク 国立大学法人 徳島大学																		
フ リ ガ ナ 大 学 の 名 称	トクシマダ イクダ イクイン 徳島大学大学院 (Graduate School, Tokushima University)																		
名称変更の内容	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;">(現在の名称)</td> <td style="width: 50%; border: none;">(変更後の名称)</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"><u>薬科学教育部</u></td> <td style="border: none;">→ <u>薬学研究科</u></td> </tr> <tr> <td style="border: none;">英訳名 (Graduate School of Pharmaceutical Sciences)</td> <td style="border: none;">英訳名 (Graduate School of Pharmaceutical Sciences)</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">創薬科学専攻 (博士前期課程)</td> <td style="border: none;">創薬科学専攻 (博士前期課程)</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">英訳名 (Course of Pharmaceutical Sciences)</td> <td style="border: none;">英訳名 (Course of Pharmaceutical Sciences)</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">創薬科学専攻 (博士後期課程)</td> <td style="border: none;">創薬科学専攻 (博士後期課程)</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">英訳名 (Course of Pharmaceutical Sciences)</td> <td style="border: none;">英訳名 (Course of Pharmaceutical Sciences)</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">薬学専攻 (博士課程)</td> <td style="border: none;">薬学専攻 (博士課程)</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">英訳名 (Course of Pharmacy)</td> <td style="border: none;">英訳名 (Course of Pharmacy)</td> </tr> </table>	(現在の名称)	(変更後の名称)	<u>薬科学教育部</u>	→ <u>薬学研究科</u>	英訳名 (Graduate School of Pharmaceutical Sciences)	英訳名 (Graduate School of Pharmaceutical Sciences)	創薬科学専攻 (博士前期課程)	創薬科学専攻 (博士前期課程)	英訳名 (Course of Pharmaceutical Sciences)	英訳名 (Course of Pharmaceutical Sciences)	創薬科学専攻 (博士後期課程)	創薬科学専攻 (博士後期課程)	英訳名 (Course of Pharmaceutical Sciences)	英訳名 (Course of Pharmaceutical Sciences)	薬学専攻 (博士課程)	薬学専攻 (博士課程)	英訳名 (Course of Pharmacy)	英訳名 (Course of Pharmacy)
(現在の名称)	(変更後の名称)																		
<u>薬科学教育部</u>	→ <u>薬学研究科</u>																		
英訳名 (Graduate School of Pharmaceutical Sciences)	英訳名 (Graduate School of Pharmaceutical Sciences)																		
創薬科学専攻 (博士前期課程)	創薬科学専攻 (博士前期課程)																		
英訳名 (Course of Pharmaceutical Sciences)	英訳名 (Course of Pharmaceutical Sciences)																		
創薬科学専攻 (博士後期課程)	創薬科学専攻 (博士後期課程)																		
英訳名 (Course of Pharmaceutical Sciences)	英訳名 (Course of Pharmaceutical Sciences)																		
薬学専攻 (博士課程)	薬学専攻 (博士課程)																		
英訳名 (Course of Pharmacy)	英訳名 (Course of Pharmacy)																		
名称変更の時期	令和 4 年 4 月 1 日																		
新名称の対象年次	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">博士前期課程</td> <td style="width: 30%;">第 1 年次</td> <td style="width: 10%;">～</td> <td style="width: 30%;">第 2 年次</td> </tr> <tr> <td>博士後期課程</td> <td>第 1 年次</td> <td>～</td> <td>第 3 年次</td> </tr> <tr> <td>博士課程</td> <td>第 1 年次</td> <td>～</td> <td>第 4 年次</td> </tr> </table>	博士前期課程	第 1 年次	～	第 2 年次	博士後期課程	第 1 年次	～	第 3 年次	博士課程	第 1 年次	～	第 4 年次						
博士前期課程	第 1 年次	～	第 2 年次																
博士後期課程	第 1 年次	～	第 3 年次																
博士課程	第 1 年次	～	第 4 年次																
名称変更の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 2 年度に、徳島大学常三島地区に既存の大学院である 2 つの教育部「総合科学教育部 (地域科学専攻、臨床心理学専攻)」、「先端技術科学教育部 (知的力学システム工学専攻、物質生命システム工学専攻、システム創生工学専攻)」と、平成 2 8 年度に新しく設置した生物資源産業学部と接続する新しい修士課程「生物資源学専攻」を加えた 6 専攻を、1 研究科 4 専攻 (地域創成専攻、臨床心理学専攻、理工学専攻、生物資源学専攻) として設置した大学院「創成科学研究科 (修士課程)」との整合性を図る。また、令和 4 年度の設置を目指している「創成科学研究科 (博士課程)」は蔵本地区大学院教育部との新たな融合研究への展開も期待できる。同一大学内において大学院の名称が異なることは、社会から見て混乱を来す恐れがあることから名称を「研究科」に変更統一する。 ・ 多様化・複雑化した社会の諸課題に対応するためには、旧来の縦割り型学問体型的見直しが必要とされ、基盤的な学問領域を堅持しつつ、新しい観点に立った教育研究を新たに推進するために、平成 1 6 年に「教育部」を医学、栄養学、歯学、薬学の大学院教育課程別に設置した。また、教員の所属をそこから分離して蔵本地区全体で統合し、教員組織として「ヘルスバイオサイエンス研究部 (平成 2 7 年に医歯薬学研究部に改称)」を設置した。この教育組織と教員組織の分離 (教・教分離) に基づく統合型大学院体制によって、教員が領域横断的に研究活動を行いながら、その研究活動を基盤として、従来の大学院組織の枠組みを越えて大学院教育を担当できるようになった。その後、平成 1 8 年に「保健科学教育部」が設置され、現在、蔵本地区においては、5 教育部・1 研究部の教・教分離体制が定着しており、組織・領域横断的な研究とそれに基づいた大学院教育が活発に行われている。 平成 1 6 年の設置当初は、学生及び教員に対して教・教分離の概念を明確化し、その意義を浸透させるために、教育組織は「教育部」、教員組織は「研究部」という名称を採用した。この結果、蔵本地区では教・教分離が定着し、教育ならびに研究の成果をあげてきたが、その一方で、「教育部」の名称は社会的には研究的要素が少ない印象を与え、研究を基盤とした修士・博士課程教育を行う大学院組織ではなく、学士課程教育を行う学部組織としばしば混同されるという問題を生じている。このような状況を鑑み、大学院組織として相応しい名称とするために、「教育部」を「研究科」に名称変更する。 ・ また、薬科学教育部においては、平成 1 6 年の教育部の設置の後、創製薬科学科 (4 年制) を基盤とする創薬科学専攻 (平成 2 2 年博士前期課程、平成 2 4 年博士後期課程を届出設置) と薬学科 (6 年制) を基盤とする薬学専攻 (平成 2 4 年届出設置) の 2 専攻に改組し、学部と大学院が有機的に連携した一貫教育をめざし、分野の枠を越えた複数教員による指導体制のもと、特色ある教育・研究を推進している。 令和 3 年度から、薬学科と創製薬科学科の 2 学科制を発展的に融合し、6 年制の薬学科のみの 1 学科制とすることに伴い、大学院においてもさらに指導的役割を担う高い能力を備えた薬剤師ならびに専門的薬学知識と高い研究能力を身につけた研究者・教育者の育成を目指すため、「薬科学教育部」を「薬学研究科」に名称変更する。 ・ ただし、変更は名称のみとし、基本的な大学院の理念、目標、学位授与の方針は従来どおりであり、既存の創薬科学専攻、薬学専攻のカリキュラム並びに設置課程 (博士前期課程、博士後期課程、博士課程) については変更しない。 																		
在校生への対応	大学院の名称変更であることから、在学生を対象に、令和 2 年 7 月 2 9 日に趣旨説明文書を送付 (WEB) し、アンケート調査を実施した。アンケート調査集計の結果、名称変更について 9 1. 9 % の同意を得た。																		

設 置 時 か ら の 組 織 の 変 更 状 況

開設又は 変更時期	変 更 内 容	学 位 又 は 学 科 の 分 野	手続きの区分
平成22年4月	薬科学教育部創薬科学専攻(博士前期課程)	薬学関係	設置届出(専攻)
平成24年4月	薬科学教育部創薬科学専攻(博士後期課程)	薬学関係	設置届出(専攻)
	薬科学教育部薬学専攻(博士課程)	薬学関係	設置届出(専攻)
令和4年4月	薬科学教育部 → 薬学研究科		名称変更(大学院)
	創薬科学専攻(博士前期課程) → 創薬科学専攻(博士前期課程)	薬学関係	
	創薬科学専攻(博士後期課程) → 創薬科学専攻(博士後期課程)	薬学関係	
	薬学専攻(博士課程) → 薬学専攻(博士課程)	薬学関係	

設置時からの教育課程の変更状況

【設置時（平成22年4月）】

（薬科学教育部 創薬科学専攻(博士前期課程)）

科目区分	授業科目の名称	単位数			変更内容	
		必修	選択	自由		
全専攻系共通カリキュラム科目	生命倫理入門		2		名称変更	
	臨床心理学		2			
	社会医学・疫学・医療統計入門		2			
	英語論文作成入門		2			
	心身健康と環境ストレス		2			
	生命科学の研究手法		2			
	小計（6科目）	0	12	0		
各専攻系間共通カリキュラム科目	臨床薬理学入門		2		名称変更	
	ゲノム創薬特論		2			
	健康食品・漢方		2			
	小計（3科目）	0	6	0		
専門科目	薬学英語特論		2		名称変更	
	創薬科学特論		2			
	創薬分析・理論化学特論		2			
	薬剤動態制御学特論		2			
	創薬先端合成化学特論		2			
	医薬品創製資源学特論		2			
	創薬遺伝子生物学特論		2			
	分子疾患予防薬学特論		2			
	医薬品安全性学特論		2			
	薬科学演習1	4				
	薬科学特別研究	14				
	小計（11科目）	22	14	0		
	合計（20科目）	22	32	0		
	学位又は学科の分野	薬学関係				
卒業要件及び履修方法						
<p>修了要件：本課程に2年以上在学し、必修科目22単位、選択科目8単位以上、計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、当該課程の目的に応じ、修士論文又は特定の課題についての研究成果の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修方法：選択科目は、全専攻系共通カリキュラム科目又は各専攻系間の共通カリキュラム科目から2単位以上を修得し、かつ、専門科目から6単位以上修得すること。</p>						

【平成30年4月】

（薬科学教育部 創薬科学専攻(博士前期課程)）

科目区分	授業科目の名称	単位数			変更内容	
		必修	選択	自由		
全専攻系共通カリキュラム科目	生命倫理概論		2		名称変更	
	臨床心理学		2			
	社会医学・疫学・医療統計概論		2			
	英語論文作成法		2			
	心身健康と環境ストレス		2			
	生命科学の研究手法		2			
	小計（7科目）	0	14	0		
各専攻系間共通カリキュラム科目	臨床薬理学概論		2		名称変更	
	ゲノム創薬特論		2			
	健康食品・漢方		2			
	小計（3科目）	0	6	0		
専門科目	薬学英語特論		2		名称変更	
	創薬科学特論		2			
	創薬分析・理論化学特論		2			
	薬剤動態制御学特論		2			
	創薬先端合成化学特論		2			
	医薬品創製資源学特論		2			
	創薬遺伝子生物学特論		2			
	健康生命薬学特論		2			
	医薬品安全性学特論		2			
	薬科学演習1	4				
	薬科学特別研究	14				
	小計（11科目）	22	14	0		
	合計（21科目）	22	34	0		
	学位又は学科の分野	薬学関係				
卒業要件及び履修方法						
<p>修了要件：本課程に2年以上在学し、必修科目22単位、選択科目8単位以上、計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、当該課程の目的に応じ、修士論文又は特定の課題についての研究成果の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修方法：選択科目は、全専攻系共通カリキュラム科目又は各専攻系間の共通カリキュラム科目から2単位以上を修得し、かつ、専門科目から6単位以上修得すること。</p>						

【名称変更前（平成31年4月）】

（薬科学教育部 創薬科学専攻(博士前期課程)）

科目区分	授業科目の名称	単位数			変更内容
		必修	選択	自由	
全専攻系共通カリキュラム科目	生命倫理概論		2		廃止 新設
	臨床心理学		2		
	社会医学・疫学・医療統計概論		2		
	英語論文作成法		2		
	宇宙と栄養・医学概論		2		
	生命科学の研究手法		2		
	小計（7科目）	0	14	0	
各専攻系間共通カリキュラム科目	臨床薬理学概論		2		単位数変更 新設
	ゲノム創薬特論		2		
	健康食品・漢方		2		
	小計（3科目）	0	6	0	
専門科目	薬学英語特論		2		単位数変更 新設
	創薬科学特論		2		
	創薬分析・理論化学特論		2		
	薬剤動態制御学特論		2		
	創薬先端合成化学特論		2		
	医薬品創製資源学特論		2		
	創薬遺伝子生物学特論		2		
	健康生命薬学特論		2		
	医薬品安全性学特論		2		
	薬科学演習1	3			
	専攻公開ゼミナール	1			
	薬科学特別研究	14			
	小計（12科目）	22	14	0	
	合計（22科目）	22	34	0	
学位又は学科の分野	薬学関係				
卒業要件及び履修方法					
<p>修了要件：本課程に2年以上在学し、必修科目22単位、選択科目8単位以上、計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、当該課程の目的に応じ、修士論文又は特定の課題についての研究成果の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修方法：選択科目は、全専攻系共通カリキュラム科目又は各専攻系間の共通カリキュラム科目から2単位以上を修得し、かつ、専門科目から6単位以上修得すること。</p>					

【名称変更後】

（薬学研究科 創薬科学専攻(博士前期課程)）

科目区分	授業科目の名称	単位数			変更内容
		必修	選択	自由	
全専攻系共通カリキュラム科目	生命倫理概論		2		名称変更
	臨床心理学		2		
	社会医学・疫学・医療統計概論		2		
	英語論文作成法		2		
	宇宙と栄養・医学概論		2		
	生命科学の研究手法		2		
	小計（7科目）	0	14	0	
各専攻系間共通カリキュラム科目	臨床薬理学概論		2		名称変更
	ゲノム創薬特論		2		
	健康食品・漢方		2		
	小計（3科目）	0	6	0	
専門科目	薬学英語特論		2		名称変更
	創薬科学特論		2		
	創薬分析・理論化学特論		2		
	薬剤動態制御学特論		2		
	創薬先端合成化学特論		2		
	医薬品創製資源学特論		2		
	創薬遺伝子生物学特論		2		
	健康生命薬学特論		2		
	医薬品安全性学特論		2		
	薬科学演習1	3			
	専攻公開ゼミナール	1			
	薬科学特別研究	14			
	小計（12科目）	22	14	0	
	合計（22科目）	22	34	0	
学位又は学科の分野	薬学関係				
卒業要件及び履修方法					
<p>修了要件：本課程に2年以上在学し、必修科目22単位、選択科目8単位以上、計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、当該課程の目的に応じ、修士論文又は特定の課題についての研究成果の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修方法：選択科目は、全専攻系共通カリキュラム科目又は各専攻系間の共通カリキュラム科目から2単位以上を修得し、かつ、専門科目から6単位以上修得すること。</p>					

設置時からの教育課程の変更状況

【設置時（平成24年4月）】

（薬科学教育部 創薬科学専攻(博士後期課程)）

科目区分	授業科目の名称	単位数			変更内容
		必修	選択	自由	
専門科目	創薬研究実践特論	2			
	創薬科学演習	6			
	ケミカルバイオロジー 共通演習		2		
	機能分子共通演習		2		
	資源・環境共通演習		2		
	小計（5科目）	8	6	0	
合計（5科目）		8	6	0	
学位又は学科の分野		薬学関係			
卒業要件及び履修方法					
<p>修了要件：本課程に5年（修士課程又は博士前期課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。）以上在学し、必修科目8単位、選択科目2単位以上、計10単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修方法：選択科目は、専門科目から2単位以上修得すること。</p>					

【平成29年4月】

（薬科学教育部 創薬科学専攻(博士後期課程)）

科目区分	授業科目の名称	単位数			変更内容
		必修	選択	自由	
専門科目	創薬研究実践特論	2			
	創薬科学演習	6			
	ケミカルバイオロジー 共通演習		2		
	機能分子共通演習		2		
	資源・環境共通演習		2		
	小計（5科目）	8	6	0	
合計（5科目）		8	6	0	
学位又は学科の分野		薬学関係			
卒業要件及び履修方法					
<p>修了要件：本課程に5年（修士課程又は博士前期課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。）以上在学し、必修科目8単位、選択科目2単位以上、計10単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修方法：選択科目は、専門科目から2単位以上修得すること。</p>					

【名称変更前（平成31年4月）】

（薬科学教育部 創薬科学専攻(博士後期課程)）

科目区分	授業科目の名称	単位数			変更内容
		必修	選択	自由	
専門科目	創薬研究実践特論	2			単位数 変更 新設
	創薬科学演習	5			
	専攻公開ゼミナール 共通演習	1			
	ケミカルバイオロジー 共通演習		2		
	機能分子共通演習		2		
	資源・環境共通演習		2		
小計（6科目）	8	6	0		
合計（6科目）		8	6	0	
学位又は学科の分野		薬学関係			
卒業要件及び履修方法					
<p>修了要件：本課程に5年（修士課程又は博士前期課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。）以上在学し、必修科目8単位、選択科目2単位以上、計10単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修方法：選択科目は、専門科目から2単位以上修得すること。</p>					

【名称変更後】

（薬学研究科 創薬科学専攻(博士後期課程)）

科目区分	授業科目の名称	単位数			変更内容
		必修	選択	自由	
専門科目	創薬研究実践特論	2			
	創薬科学演習	5			
	専攻公開ゼミナール 共通演習	1			
	ケミカルバイオロジー 共通演習		2		
	機能分子共通演習		2		
	資源・環境共通演習		2		
小計（6科目）	8	6	0		
合計（6科目）		8	6	0	
学位又は学科の分野		薬学関係			
卒業要件及び履修方法					
<p>修了要件：本課程に5年（修士課程又は博士前期課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。）以上在学し、必修科目8単位、選択科目2単位以上、計10単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修方法：選択科目は、専門科目から2単位以上修得すること。</p>					

設置時からの教育課程の変更状況

【設置時（平成24年4月）】

【平成28年4月】

【名称変更前（平成31年4月）】

【名称変更後】

(薬科学教育部 薬学専攻(博士課程))

(薬科学教育部 薬学専攻(博士課程))

(薬科学教育部 薬学専攻(博士課程))

(薬学研究科 薬学専攻(博士課程))

科目区分	授業科目の名称	単位数			変更内容
		必修	選択	自由	
共通カリキュラム科目	英語論文作成法	2			新設
	クラスターコアセミナー		2		
	生命倫理概論		2		
	臨床心理学		2		
	社会医学・疫学・医学統計概論		2		
	心身健康と環境ストレス		2		
	生命科学の研究手法		2		
	ゲノム創薬特論		2		
	健康食品・漢方		2		
	小計(9科目)	2	16	0	
専門科目	臨床薬物動態学特論		2		
	実践医薬品情報学特論		2		
	医薬品開発特論		2		
	臨床病態学特論		2		
	がん専門薬剤師特論		2		
	集学的治療薬特論		2		
	育薬共通演習		2		
	医療薬学実践演習		2		
	がんチーム医療演習		2		
	がん薬物治療実践演習		2		
	薬学演習	8			
	薬学課題研究	10			
	小計(12科目)	18	20	0	
アドバンスド科目	悪性腫瘍の管理と治療			1	
	医療倫理・医療対話学			1	
	がんのベーシックサイエンスと臨床薬理学			1	
	がんの臨床検査・病理診断・放射線診断学			0.5	
	がん治療各論			2	
	がん緩和治療			0.5	
	がん治療薬特論			2	
小計(7科目)	0	0	8		
合計(28科目)	20	36	8		
学位又は学科の分野	薬学関係				
卒業要件及び履修方法					
<p>修了要件：本課程に4年以上在学し、必修科目20単位、選択科目10単位以上、計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修方法：選択科目の履修方法は、以下のとおりとする。 ア) 共通カリキュラム科目の選択科目から2単位以上を修得し、かつ、以下の専門科目から「育薬共通演習」及び「医療薬学実践演習」を含めて8単位以上を修得しなければならない。 「臨床薬物動態学特論」2単位 「実践医薬品情報学特論」2単位 「医薬品開発特論」2単位 「臨床病態学特論」2単位 「育薬共通演習」2単位 「医療薬学実践演習」2単位 イ) 創薬科学専攻(博士前期課程)において履修した授業科目以外の授業科目から履修すること。</p>					

科目区分	授業科目の名称	単位数			変更内容
		必修	選択	自由	
共通カリキュラム科目	英語論文作成法	2			新設
	クラスターコアセミナー		2		
	生命倫理概論		2		
	臨床心理学		2		
	社会医学・疫学・医学統計概論		2		
	心身健康と環境ストレス		2		
	生命科学の研究手法		2		
	ゲノム創薬特論		2		
	健康食品・漢方		2		
	医療系分野における知的財産学概論		2		
小計(10科目)	2	18	0		
専門科目	臨床薬物動態学特論		2		
	実践医薬品情報学特論		2		
	医薬品開発特論		2		
	臨床病態学特論		2		
	がん専門薬剤師特論		2		
	集学的治療薬特論		2		
	育薬共通演習		2		
	医療薬学実践演習		2		
	がんチーム医療演習		2		
	がん薬物治療実践演習		2		
	薬学演習	8			
	薬学課題研究	10			
	小計(12科目)	18	20	0	
アドバンスド科目	悪性腫瘍の管理と治療			1	
	医療倫理・医療対話学			1	
	がんのベーシックサイエンスと臨床薬理学			1	
	がんの臨床検査・病理診断・放射線診断学			0.5	
	がん治療各論			2	
	がん緩和治療			0.5	
	がん治療薬特論			2	
小計(7科目)	0	0	8		
合計(29科目)	20	38	8		
学位又は学科の分野	薬学関係				
卒業要件及び履修方法					
<p>修了要件：本課程に4年以上在学し、必修科目20単位、選択科目10単位以上、計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修方法：選択科目の履修方法は、以下のとおりとする。 ア) 共通カリキュラム科目の選択科目から2単位以上を修得し、かつ、以下の専門科目から「育薬共通演習」及び「医療薬学実践演習」を含めて8単位以上を修得しなければならない。 「臨床薬物動態学特論」2単位 「実践医薬品情報学特論」2単位 「医薬品開発特論」2単位 「臨床病態学特論」2単位 「育薬共通演習」2単位 「医療薬学実践演習」2単位 イ) 創薬科学専攻(博士前期課程)において履修した授業科目以外の授業科目から履修すること。</p>					

科目区分	授業科目の名称	単位数			変更内容
		必修	選択	自由	
共通カリキュラム科目	英語論文作成法	2			廃止 新設
	クラスターコアセミナー		2		
	生命倫理概論		2		
	臨床心理学		2		
	社会医学・疫学・医学統計概論		2		
	宇宙と栄養・医学概論		2		
	生命科学の研究手法		2		
	ゲノム創薬特論		2		
	健康食品・漢方		2		
	医療系分野における知的財産学概論		2		
小計(10科目)	2	18	0		
専門科目	臨床薬物動態学特論		2		単位数 変更 新設
	実践医薬品情報学特論		2		
	医薬品開発特論		2		
	臨床病態学特論		2		
	がん専門薬剤師特論		2		
	集学的治療薬特論		2		
	育薬共通演習		2		
	医療薬学実践演習		2		
	がんチーム医療演習		2		
	がん薬物治療実践演習		2		
	薬学演習	7			
	専攻公開ゼミナール	1			
	薬学課題研究	10			
小計(13科目)	18	20	0		
アドバンスド科目	悪性腫瘍の管理と治療			1	
	医療倫理・医療対話学			1	
	がんのベーシックサイエンスと臨床薬理学			1	
	がんの臨床検査・病理診断・放射線診断学			0.5	
	がん治療各論			2	
	がん緩和治療			0.5	
	がん治療薬特論			2	
小計(7科目)	0	0	8		
合計(30科目)	20	38	8		
学位又は学科の分野	薬学関係				
卒業要件及び履修方法					
<p>修了要件：本課程に4年以上在学し、必修科目20単位、選択科目10単位以上、計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修方法：選択科目の履修方法は、以下のとおりとする。 ア) 共通カリキュラム科目の選択科目から2単位以上を修得し、かつ、以下の専門科目から「育薬共通演習」及び「医療薬学実践演習」を含めて8単位以上を修得しなければならない。 「臨床薬物動態学特論」2単位 「実践医薬品情報学特論」2単位 「医薬品開発特論」2単位 「臨床病態学特論」2単位 「育薬共通演習」2単位 「医療薬学実践演習」2単位 イ) 創薬科学専攻(博士前期課程)において履修した授業科目以外の授業科目から履修すること。</p>					

科目区分	授業科目の名称	単位数			変更内容
		必修	選択	自由	
共通カリキュラム科目	英語論文作成法	2			
	クラスターコアセミナー		2		
	生命倫理概論		2		
	臨床心理学		2		
	社会医学・疫学・医学統計概論		2		
	宇宙と栄養・医学概論		2		
	生命科学の研究手法		2		
	ゲノム創薬特論		2		
	健康食品・漢方		2		
	医療系分野における知的財産学概論		2		
小計(10科目)	2	18	0		
専門科目	臨床薬物動態学特論		2		
	実践医薬品情報学特論		2		
	医薬品開発特論		2		
	臨床病態学特論		2		
	がん専門薬剤師特論		2		
	集学的治療薬特論		2		
	育薬共通演習		2		
	医療薬学実践演習		2		
	がんチーム医療演習		2		
	がん薬物治療実践演習		2		
	薬学演習	7			
	専攻公開ゼミナール	1			
	薬学課題研究	10			
小計(13科目)	18	20	0		
アドバンスド科目	悪性腫瘍の管理と治療			1	
	医療倫理・医療対話学			1	
	がんのベーシックサイエンスと臨床薬理学			1	
	がんの臨床検査・病理診断・放射線診断学			0.5	
	がん治療各論			2	
	がん緩和治療			0.5	
	がん治療薬特論			2	
小計(7科目)	0	0	8		
合計(30科目)	20	38	8		
学位又は学科の分野	薬学関係				
卒業要件及び履修方法					
<p>修了要件：本課程に4年以上在学し、必修科目20単位、選択科目10単位以上、計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修方法：選択科目の履修方法は、以下のとおりとする。 ア) 共通カリキュラム科目の選択科目から2単位以上を修得し、かつ、以下の専門科目から「育薬共通演習」及び「医療薬学実践演習」を含めて8単位以上を修得しなければならない。 「臨床薬物動態学特論」2単位 「実践医薬品情報学特論」2単位 「医薬品開発特論」2単位 「臨床病態学特論」2単位 「育薬共通演習」2単位 「医療薬学実践演習」2単位 イ) 創薬科学専攻(博士前期課程)において履修した授業科目以外の授業科目から履修すること。</p>					

国立大学法人徳島大学 設置計画等に関する組織の移行表

令和3年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和4年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
徳島大学				徳島大学				
総合科学部				総合科学部				
社会総合科学科	170	-	680	社会総合科学科	170	-	680	
医学部				医学部				
医学科	100	-	600	医学科	100	-	600	
医科栄養学科	50	-	200	医科栄養学科	50	-	200	
		3年次				3年次		
保健学科	124	16	528	保健学科	124	16	528	
歯学部				歯学部				
		2年次				2年次		
歯学科	40	3	255	歯学科	40	3	255	
口腔保健学科	15	-	60	口腔保健学科	15	-	60	
薬学部				薬学部				
薬学科	80	-	480	薬学科	80	-	480	
理工学部				理工学部				
理工学科		3年次		理工学科		3年次		
昼間コース	550	35	2,270	昼間コース	550	35	2,270	
夜間主コース	45	-	180	夜間主コース	45	-	180	
生物資源産業学部		2年次		生物資源産業学部		2年次		
生物資源産業学科	100	2	406	生物資源産業学科	100	2	406	
計	1,274	5 3年次 51	5,659	計	1,274	5 3年次 51	5,659	
徳島大学大学院				徳島大学大学院				
創成科学研究科				創成科学研究科				
地域創成専攻(M)	16	-	32	地域創成専攻(M)	16	-	32	
臨床心理学専攻(M)	12	-	24	臨床心理学専攻(M)	12	-	24	
理工学専攻(M)	308	-	616	理工学専攻(M)	308	-	616	
生物資源学専攻(M)	39	-	78	生物資源学専攻(M)	39	-	78	
				創成科学専攻(D)	47		141	研究科の専攻の設置(意見伺い)
総合科学教育部					0	-	0	令和4年4月学生募集停止
地域科学専攻(D)	4	-	12		0	-	0	令和4年4月研究科名称変更
医科学教育部				医学研究科				令和4年4月専攻名称変更
医科学専攻(M)	10	-	20	医学専攻(M)	10	-	20	
医学専攻(D)	51	-	204	医学専攻(D)	51	-	204	
口腔科学教育部				口腔科学研究科				令和4年4月研究科名称変更
口腔保健学専攻(M)	5	-	10	口腔保健学専攻(M)	5	-	10	
口腔保健学専攻(D)	2	-	6	口腔保健学専攻(D)	2	-	6	
口腔科学専攻(D)	18	-	72	口腔科学専攻(D)	18	-	72	
薬科学教育部				薬学研究科				令和4年4月研究科名称変更
創薬科学専攻(M)	35	-	70	創薬科学専攻(M)	35	-	70	
創薬科学専攻(D)	10	-	30	創薬科学専攻(D)	10	-	30	
薬学専攻(D)	4	-	16	薬学専攻(D)	4	-	16	
栄養生命科学教育部				医科栄養学研究科				令和4年4月研究科名称変更
人間栄養科学専攻(M)	22	-	44	医科栄養学専攻(M)	22	-	44	令和4年4月専攻名称変更
人間栄養科学専攻(D)	9	-	27	医科栄養学専攻(D)	9	-	27	令和4年4月専攻名称変更
保健科学教育部				保健科学研究科				令和4年4月研究科名称変更
保健学専攻(M)	27	-	54	保健学専攻(M)	27	-	54	
保健学専攻(D)	5	-	15	保健学専攻(D)	5	-	15	
先端技術科学教育部					0	-	0	令和4年4月学生募集停止
知的力学システム工学専攻(D)	14	-	42		0	-	0	令和4年4月学生募集停止
物質生命システム工学専攻(D)	9	-	27		0	-	0	令和4年4月学生募集停止
システム創生工学専攻(D)	20	-	60		0	-	0	令和4年4月学生募集停止
計	620	-	1,459	計	620	-	1,459	